

鹿児島県大島郡与論町朝戸方言の待遇表現

町 博光

I. はじめに

- (1) 調査対象地：奄美諸島の最南端に位置する与論島は、鹿児島市から592km、沖縄本島那覇市からは、116kmにある。沖縄本島北端とは、28kmしか離れていない。行政区画上は、鹿児島県に属する。周囲21.9km、面積20.82km²。一島で一町を形成し、9小字からなる。人口7線百余。近年、人口の増減は、ほとんどなく安定している。

調査対象地の朝戸集落は、島のほぼ中央に位置する。(人口567人、昭和63年)

- (2) 調査年月日：1996年7月25日
- (3) 話者：吉田ケイ氏 1928年生(69歳) 農業(紬織り)
- (4) 調査者・調査場所：吉田氏宅で、町が面接でおこなった。
- (5) 調査方法：当該調査票による質問調査。調査者も内省が可能なので、吉田氏の回答に補足を加えながら調査をおこなっていった。
- (6) 表記方法：方言事象は、音声記号で表記する。アクセントは、文例にのみ、高音部に棒線を付す。話者の説明は、()で示す。文例は、○印で示す。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

- (1) A お前は ?uro: 代名詞の「お前」は?ura ?uro:は、?ure:に係助詞「は」が融合したものである。

元気かね genki ji:

- B あなたは ?ure:ja jaは係助詞の「は」に相当する。

元気かね genki ji:

- C あなたは ?ure:ja

元気かね genki ji:

- (2) A あしたは家にいるか ?attʃa:ja ja:nai wujum mi: wujunは「居る」にあたる動詞、wunとも言う。wunになるとややぞんざい。

- B あしたは家にいるか ?attʃa:ja ja:nai ?em mi: ?emは「行く、来る、居る」などの尊敬動詞。mi:は疑問文末詞。muiとも言う。

- C あしたは家にいるか ?attʃa:ja ja:nai ?em mi: han hanは確認の意の文末詞。目下にはçinを使う。
- (3) A あした行くか ?attʃa: ?ikjum mi:
 B あした行きますか ?attʃa: ?em mi:
 C あした行きますか ?attʃa: ?em mi:
- (4) A 温泉に行かないか ?onsenkati ?ikan de: (この言い方は「温泉に行こう」と直接に誘うばあいである。「行かないか」と相手の意向を尋ねるときは ?ikan nuiとなる。 ?ikan nuiとなるとやや詰問調となる。)
 B 温泉に行かれませんか ?onsenkati ?wan nui
 C 温泉に行かれませんか ?onsenkati ?wan nui
- (5) A あしたはどんな仕事をしますか ʃun ga gaは「か」相当の疑問文末詞。
 B あしたはどんな仕事をされますか ʃa:bjun ga bjunは「はべる」相当の助動詞。「なさる」にあたる尊敬動詞はない。
- (6) A 『水戸黄門』を見ましたか mja:bitam mi: mi:は疑問文末詞。
 B 『水戸黄門』を見ましたか mja:bitam mi: 「ご覧になる」にあたる言い方はない。
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか ju:bjā: nandzin juFu:tan ga juFu:tanは「休む」にあたる尊敬動詞。
 B ゆうべは何時に寝ましたか ju:bjā: nandzin juFu:tan ga
 C そのベッドに寝てください juFu:ri
- (8) A どこに行っているか ?ida:ti ?ikjuntʃi ga
 B どこに行っていますか ?ida:ti ?entʃi ga
 C どこに行っていますか ?ida:ti ?wa:tʃun tʃi ga (年長の人への言い方と目上の人への言い方の区別はない。 ?entʃi gaでもよい。)
- (9) A どうぞ食べてくれ ko:ti mi: (「どうぞ」にあたる言い方は思いつかない。)
 B どうぞ食べてください ?agiti mi:
 C どうぞ食べてください ?agiti mi: (?agiti mi:がふつう。もっと丁寧に言うとき ?e:ʃiriがあるがあまり使わない。)
- (10) A その写真を私に見せてくれないか miʃiti mi: (miʃiti kuriri「見せてくれ」とも言う。)
 B その写真を私に見せてくださいますか miʃiti taba:ri taba:riは「給れ」の命令形。
 C その写真を私に見せてくださいますか miʃiti taba:riがふつうの言い方。(もってまわった言い方をするとmiʃiti taba:rarandarai「見せて 給れないだろうか」の言い方もできる。)

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう ?attʃa:ja ja:nai wujuru padzi padziは「筈」。
体言で止めて推量を表す体言化表現法。
B あしたは家に居るだろう ?attʃa:ja ja:nai ?e:ru padzi
C あしたは家におられるだろう ?attʃa:ja ja:nai ?e:ru padzi
- (12) A 居なかった wurantan
B 居なかった ?wantan
C 居なかった ?wantan
- (13) A そう言った gan tʃu:tan
B そう言った gantʃi ?e:tan
C そう言った gantʃi ?e:tan
- (14) A 今そこに行っていた njama ?umakati ?idzutan
B 今そこに行っていた njama ?umakati ?wa:tʃutan
C 今そこに行っておられた njama ?umakati ?wa:tʃutan
- (15) A 友達が来ている ?agunu kitʃun
B 友達が来ている (存続の敬態) ?wa:tʃun
C 来ている ?wa:tʃun
- (16) A 仕事をしている ʃigutu ʃitʃun
B 仕事をしている ʃigutu ʃitʃi?en
- (17) A 見せてもらった miʃiti kurju:tan 相手の立場になって「見せてくれた」という言い方になる。
B 見せてもらった miʃiti tabe:tan tabenも「給る」で相手に視点を置いた言い方である。
C 見せてもらった miʃiti tabe:tan
- (18) A 見せてくれた miʃu:tan
B 見せてくれた miʃu:tan
C 見せてくれた miʃiti muro:tan
- (19) A 私にくださった wanukati kurju:tan
B 私にくださった wanukati tabe:tan
- (20) A いただいた muro:tan ただし、この言い方は共通語の翻訳調。ふつうに言う
とtabe:tanになる。
B いただいた muro:tan

II 謙譲表現

II-1 謙譲表現

- (21) A 私も元気だよ wanun
 B 私も元気だよ wanun
 C 私も元気だよ wanun 「も」にはnが相当する。
- (22) A 十分に食べました dzu:bun koreja:bitan bitanはbjunの完了態。
 B 十分に食べました dzu:bun koreja:bitan
- (23) A 持ちましょう mutʃa:biran
 B 持ちましょう mutʃa:biran
- (24) A 待たせたね matatʃan jan janは文末詞「ね」に相当。
 B お待たせしました mataʃa:bitan
 C お待たせしました mataʃa:bitan
- (25) A 駅で待っているよ mattʃun do:
 B 駅で待っているよ mattʃa:bjun do: do:は「よ」にあたる文末詞。
 C 駅で待っているよ mattʃa:bjun do:
- (26) A 言ってくれ ?ittʃi mi:
 B 言ってくれ ?wa:tʃi mi:
 C 言ってくれ ?wa:tʃi taba:ri
- (27) A これをやろう Furi girasan
 B これをやろう Furi ?e:ʃiran
 C これをやろう Furi ?e:ʃiran

II-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった ho:ti turatʃan
 B 買ってやった ho:ti turatʃan
 C 買ってやった ho:ti turatʃan
- (29) A 主人はもう帰っている ?atʃo:nja:muditun do: ?atʃo:は「父」の意。
 B 主人はもう帰っている ?atʃo:nja:muditujabin (自分の夫に丁寧な言葉を使ってはいけないという意識は持っていない。)

III 丁寧表現

- (30) A 行くよ ?ikjun da:
 B 行くよ ?ikja:bjun da:
- (31) A 寒いね pi:so:jan
 B 今日は寒いね ɕu:ja pi:sajabjui pi:sajabjuiは「寒さははべる」に相当するか。
- (32) A 居るよ wujun da:

- B 居ます wuja:bjun
- (33) A よかったねえ jukati ?ei 直訳すると「良かてだ」と体言化の表現となる。
 B よかったですねえ jukati ?e:bjui
 C よかったですねえ jukati ?e:bjui
- (34) A そうか gan ?ei
 B そうですか gan ?e:bjui
 C そうですか gan ?e:bjui

IV 人間関係に応じた待遇表現

IV. 1 特定表現の待遇表現

- (35) 「その角を曲がって右へ行くと～」 ?umanu hadu magati ?wa:ribo:~ マガッテモラッテ~の言い方はない。
- (36) 「とんでもない」 nutʃ tʃ in nennu (「なんということもない」に相当する。) トンデモゴザイマセンの言い方はない。

IV. 2 多人数場面の待遇表現

- (37) 「世話役を引き受けるとき piki?ukja:bjun
 (38) 「皆さん参加してほしい」 sankafitʃi taba:ri

IV. 3 位相による待遇表現

- (39) 1 お寺の住職さん (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti?entʃi ga
 2 校長先生 (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti?entʃi ga
 3 見知らぬ年配の男性 (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti?entʃi ga
 4 見知らぬ年配の女性 (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti?entʃi ga
 5 顔見知りの年上の男性 (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti?entʃi ga
 6 顔見知りの年上の女性 (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti?entʃi ga
 7 10歳ほど年下の見知らぬ男性 (A) pe:saibjum mani: (B) ?ida:ti ?entʃi ga
 8 10歳ほど年下の見知らぬ女性 (A) pe:sam mani: (B) ?ida:ti ?ikjuntʃi ga
 9 同級生の男性 (A) nu:ga hagam pe: (B) ?ida:ti ga
 10 同級生の女性 (A) nu:ga hagam pe: (B) ?ida:ti ga
 11 10歳ほど年下の顔見知りの男性 (A) nu:ga hagam pe: (B) ?ida:ti ga
 12 10歳ほど年下の顔見知りの女性 (A) nu:ga hagam pe: (B) ?ida:ti ga
 13 近所の中学生の男の子 (A) ?ohajo: (B) ?ida:ti ga

V まとめ

教示していただいたことを記述してきて、与論島方言の待遇表現の特色を、以下のよう
にまとめることができる。

一 敬語体系として、常態と敬体の二段階に区別することが多い。

代名詞の「おまえ」と「あなた」は、?uro:と?ure:の対立、言い換えるとo:とre:の
音声的対立としてとらえることができる。

項目(2)(3)(5)(8)(9)(13)(15)など、いずれも敬語動詞と常態
動詞の対立である。助動詞を使った何段階にもわたる区別は認められない。

二 敬語助動詞のbjunの隆盛が見られる。本土方言のレル・ラレル助動詞やナサル助動
詞は与論島方言には認められない。「(5) 仕事をする」や「(6) 見る」の敬語動
詞「なさる」や「ご覧になる」は認められず、代わりにbjunが用いられている。

三 同様に、「給わる」に相当するtabenの隆盛も指摘できる。「(10) その写真を私に
見せてくださいますか」「(19) 私にくださった」の「くださる」や「(17) 見
せてもらった」の「もらう」にはいずれもtabenが該当する。

四 身内敬語の残存が指摘できる。第三者に対する、妻から夫への敬語、子どもから父
への敬語は依然として残存している。

○njama parukara muditi?wa:dzi. (まだ 畑から 戻っていらっしやらない。)
は、第三者に対する時の妻から夫への敬意の表現である。

○?atʃo: njama pattaikara muduti?wa:tʃuradzi. (父は まだ 畑から もどっ
ていらっしやってない。)

は、第三者に対する時の子どもから父への敬意の表現である。与論島方言の敬語体系
が基本的には、女性から男性、年下から年長者へのものであることを示していよう。

五 与論島方言の敬語体系はそれほど複雑なものではない。むしろ二系対立の簡素なも
のであることがわかる。しかしながら、その簡素さを補うために機能している文末詞
に注目しなければならない。

「(2) あしたは家にいるか」の回答としては、「いる」にwujun「いらっしやる」
に?enの対立が認められる。しかし、現実の会話場面では、これにさらに文末詞hanと
çinの対立が加わる。

○attʃa:ja ?ja:nai ?emmi: han. (あしたは家にいらっしやいますか。) は最上
位の言い方であり、

○attʃa:ja ?ja:nai wummi: çin. (あしたは家にいるか。) は最下位の言い方
である。文末詞を用いるか用いないかでまた相手の待遇度が相違してくるのである。

(まちひろみつ 広島大学)